

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年02月17日

計画の名称	稚内港における安全で利便性の高い通行の確保（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	稚内市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ふ頭間及び中心市街地を結ぶ臨港道路の整備により、人にやさしい快適な導線を構築することで、北地区、港地区、末広地区を利用する市民や港湾利用者、観光客等の移動の利便性向上を図る。 ・港内における船舶の安全な航行や安定した荷役作業を確保するため、外来漁船の係留施設を整備し、利用者の利便性向上を図る。 ・船舶上下架作業の安全を確保するため、船舶上下架施設の整備を行い、利用者の利便性向上を図る。 											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,043	A	1,043	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H32末	H34末
1	道路整備を行うことにより、車両の安全で円滑な通航・快適な歩行空間の確保を行う。ふ頭間をつなぐ臨港道路の不陸や段差を解消し、スムーズで安全な交通を確保する。 交通死亡事故ゼロ	0件	0件	0件
2	外来漁船や地元漁船のスムーズな陸揚げや準備を行うために、係留施設を新設する。 係留施設を整備することでスムーズな陸揚げ作業になり、水産物の商品価値の低下が回避され付加価値が向上する。本計画では、イカの魚価上昇を目標とする。 過去5年（H24-H28）のイカの平均魚価は、2,141円/t（水揚げ高÷水揚げ量）である。	2141円/t	円/t	2141円/t
3	船舶上下架施設の整備を行い、上下架作業の安全性の確保と作業の効率化、漁業者負担の軽減を図る。 上下架船舶28隻の上下架総作業時間の短縮。	132時間	37時間	37時間

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
稚内市強靱化計画に基づき、実施される要素事業：A01-001、A01-002、A01-003												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	稚内市	直接	稚内市	重要	改良	臨港道路の改良	L=1000m	稚内市/稚内港 ・港地区、末広地区						250	1.18	-	
	A02-002	港湾	北海道	稚内市	直接	稚内市	重要	改良	係留施設整備	物揚場L=58m、岸壁L=58m	稚内市/稚内港 ・港地区						653	1.15	策定済	
	A02-003	港湾	北海道	稚内市	直接	稚内市	地方	改良	船揚場改良	船揚場一式 リフト基礎工、 軌道基礎工	宗谷港・本港地 区						140		策定済	
												小計						1,043		
												合計						1,043		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	R1	R2	R3
配分額 (a)	42.6	42.6	41.1	35	34.5
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	42.6	42.6	41.1	35	34.5
前年度からの繰越額 (d)	61.404	0	0	0	0
支払済額 (e)	103.726	41.881	40.686	34.91	
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (g = c+d-e-f)	0.278	0.719	0.414	0.090	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.3%	1.7%	1.0%	0.3%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					